



TFU ALUMNI BULLETIN

東北福祉大学同窓会

会報

第16号

東北福祉大学

学長 萩野 浩基

〒981-8522 仙台市青葉区国見1-8-1

電話(代) 022-233-3111

FAX(代) 022-233-3113

ホームページ

http://www.tfu.ac.jp

せんだんホスピタル開院

東北初の児童思春期専門病床を備える

東北では初めてとなる子ども専門の精神科入院病棟を設けた「東北福祉大学 せんだんホスピタル」が六月二日、開院した。所在地は仙台市青葉区国見ヶ丘六ノ六五ノ八。診療科目は精神科、児童精神科および内科で、ベッド数は一四四床。特設外来に児童思春期外来や、もの忘れ外来も設けている。

本校地から西に約一キロの国見ヶ丘地区に位置する鉄筋コンクリート造、地上四階建の瀟洒な建物で、敷地面積は9、539.73平方メートル、建築面積は3、748.12平方メートル。病院の基本方針として「人としての尊厳に配慮」、「チーム医療を通して医療レベルの向上に努める」、「地域と連携し、早期の社会復帰を促進する」を掲げている。

大きな特徴は児童思春期専門病床を有する点。児童思春期における心の問題は今や大きな社会問題になっている。この種の専門病床の確保は東北地区初で、関係者の期待は早くも高まっている。さらに、地域ケアにスポットを当てた包括型地域生活支援(ACT II Asseritive Community Treatment)部門の設置も注目されている。米国で積極的に導入され、効果を挙げているACT。重い精神障害を持つ人たちでも住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、専門医や精神保健福祉士、作業療法士、看護師らがチームを組み、積極的に訪問するという包括的なサービスを提供する。また、これまで大学内の「特別支援教育研究センター」では、学習障害、発達障害、アスペルガー症候群の児童を対象に支援を行っており、今後、このホスピタルとの相互連携が一層の相乗効果をもたらすものと見込まれている。

浅野弘毅院長(精神科)は「保渦巻いている。右を向いても左を見ても難問だらけの現代社会。東北福祉大学ではそんなときだからこそこの思いから、あすの東北、日本、世界を視野に入れた「人づくりフォーラム」を七月十九日、音楽堂やききホールで開催することになった。相次ぐ学部、学科の新設。三年前に健康科学部と子ども科学部、今年には総合マネジメント学部、健康科学部にはハビリテーション学科と医療経営管理学科を加え、現在四学部、九学科にまで発展した東北福祉大学。

7・19 人づくりフォーラム開催

～東北から世界に直結する「東北新時代」～

内憂外患。ミヤンマーのサイクロン、中国四川大地震、国内では岩手宮城内陸地震、秋葉原の殺傷事件、十年連続自殺者が三万人突破、虐待増加など目を覆うばかりの出来事が

そこで、大学の現状理解を深めるため、まずは学内の体制づくり、意識改革を図る。そこから全学が一致団結して、将来の社会について共通認識を育むことを主眼に置く。

13:00	開会のあいさつ	大会実行委員長 萩野 浩基 学長
13:10	特別講演「仕事を通しての自己実現」	全日本空輸株式会社(ANA)取締役執行役員 客室本部長 山内純子氏
14:00	パネルディスカッション 「これからの時代と人づくり」	パネリスト: 山内 純子氏 [全日本空輸株式会社(ANA)取締役執行役員 客室本部長] 義家 弘介氏 [本学特任准教授・参議院議員] 鈴木 素雄氏 [株式会社河北新報社論説委員] 丸山 昇氏 [宮城県経済商工観光部 産業立地推進課 企業立地推進専門監] 田中 克人氏 [国民政治研究会 理事長・社団法人日本フィランソロジー協会 副会長] 渡辺 信英氏 [本学学長補佐・総合福祉学部長・総合マネジメント学部長] 小松 洋吉氏 [本学教授・地域減災センター長・ボランティアセンター長] 船渡 忠男氏 [本学健康科学部 医療経営管理学科長] 佐藤伊知子氏 [本学准教授・就職部副部長] コーディネーター: 阿部 四郎氏 [本学教授・感性福祉研究所 副所長]
16:00	閉会のあいさつ	光永 輝彦氏 [本学特任教授・後援会長]

ゴルフ部男子が日本一

対抗戦成績			
【男子】			
順位	初日	最終日	合計
① 東北福祉大	275	273	548
② 日大	276	282	558
③ 同志社大	279	290	569
【女子】			
① 立命館大	297	301	598
② 法政大	301	300	601
③ 同志社大	301	302	603
⑨ 東北福祉大	308	318	626

6人エントリーで5人出場。上位4人の合計スコアで順位を決定



優勝したゴルフ部男子

第45回全国大学ゴルフ対抗戦と第31回全国女子大学ゴルフ対抗戦が六月十九、二十の両日、北海道安平町のオークウッドGC(男子7020ヤード、パー71、女子6219ヤード、パー72)で行われ、本学男子が二年ぶり九度目の優勝を飾った。

報じられている。これらにはきょうに始まったことではなく、大学が掲げている「人づくりのための人づくり」がかねて実践されている証左である。今回のフォーラムは、まず大学の関係者が自らを認識し、合わせて外部にも打って出ようという狙いを持つ。本学が培ってきた総合力は世に問うに十分な価値を備えている。大いに自信を持ちたい。(国見 太郎)



せんだんホスピタルの正面



受付



病室

健康福祉と融合した医療を提供し、ノーマライゼーション社会の実現に貢献したい」と抱負を語る。開院に先立ち、落慶法要が五月

二十日、宗門関係者を迎え、厳かに営まれた。建設に携わった設計や施工業者をはじめとし、学校関係者ら多数が出席した。渚英徳宗務総長が導師を務め、読経、回向、普同三拜と進んだ。焼香は学校法人梅檀学園の葦原正憲理事長、萩野浩基学長、浅野院長と続いた。建物の無事完成を祝い、設計と施工業者に葦原理事長から感謝状が手渡された。



萩野学長は「宗門が病院をもつことは大変に意義がある。現代社会には体だけでなく心を病んでいる人も多い。これから未来に明るい光が放てるよう、われわれ一丸となって努力する」と感慨深げにあいさつを述べた。前夜から激しく降り続いた雨も上がり、まさに心の平安にふさわしい幕開けになった。

自殺者が年間三万人を超える異常なストレス社会。こころの平安なくして福祉は成り立たず、東北福祉大学は住みよい社会づくりのために新たな挑戦を始める。なお、同ホスピタルは落慶法要翌日の五月二十一日、宮城県の河北新報朝刊一面トップ記事で紹介された。

佐伯プロが寄付



六月十四日に発生した「岩手・宮城内陸地震」に、OBで女子プログラマーの佐伯三貴さん(平19社福卒)が、宮城県を通じて百万円の寄付を申し出た。

佐伯さんは広島県出身だが、学生時代を過ごした宮城県を第二の故郷と慕っている。今回の地震に「お世話になった宮城県に恩返ししたかった。少しでもお役に立てば」と話している。

佐伯さんは三月にも仙台市にある県立こども病院に向いて、子ども用車イス二台と百万円を寄付している。そんな佐伯さんの話を聞いたゴルフ部のOB間では、七月六日に日本ツアー選手権を制した星野英正プロらをはじめ、早くも賛同する動きが広がっている。

なお、本学ボランティアセンターでは早速、被災者支援のため「ボランティア会」を結成し、六月二十八日から被災地の宮城県栗原市花山地区で足湯サービスを実施している。合わせて、学内3カ所と

人づくりフォーラム

四年制大学になって今年で46年目。発展した東北福祉大学の今を伝えるフォーラムが7月19日(土)午後1時から音楽堂(やきホール)で開催される。テーマは「これからの時代と人づくり」。特別講演とパネルディスカッションの二本が柱だが、福祉・教育・医療・産業・情報をカバーする4学部、9学科を有する本学の可能性をあらためて再認識する絶好の機会でもある。▼昨年3月、JR仙山線に「東北福祉大前」駅が誕生。今年6月にはこころのケアに焦点を当てた病院「せんだんホスピタル」が開院した。本学は関連施設として福聚幼稚園、せんだんの杜保育園といった乳幼児期から、せんだんの杜、兵里、館の各高年齢者施設に至るまで人間の生活に直結した、さまざまな施設を備え、この点、全国の他大学を凌駕している。▼ハード面ばかりではない。卒業生の数は32、611人(3月時点)に上り、福祉関係は言うまでもなく、企業公務員など、ありとあらゆる分野に進出しており、特に最近ではプロ野球の阪神・金本外野手や米大リーグ、ドジャースの斉藤隆投手、プログラムの星野英正、谷原秀人、佐伯三貴らプロスポーツ界の活躍もマスコミを通じて大きく報じられている。▼これらにはきょうに始まったことではなく、大学が掲げている「人づくりのための人づくり」がかねて実践されている証左である。今回のフォーラムは、まず大学の関係者が自らを認識し、合わせて外部にも打って出ようという狙いを持つ。本学が培ってきた総合力は世に問うに十分な価値を備えている。大いに自信を持ちたい。(国見 太郎)

学一如

昭和61年 (1986年) 当時

「東北21世紀フォーラム」開催 作家・小松左京氏を招く

東北福祉大学は一八七五年(明治八年)に曹洞宗専門学支校として誕生した。幾多の変遷を重ね一九五八年(昭和三十三年)に短期大学になり、六二年(同三十七年)に四年制大学に昇格、社会福祉学部社会福祉学科を設けた。短大時代から数え、卒業生の数は三万三千人を超えている。さて、大学の時々を振り返るシリーズの第16回は、大学が総力を挙げて取り組んだ「東北21世紀フォーラム」が開催された一九八六年(昭和六十二年)を取り上げる。二十一世紀まで十四年に迫った東北の未来について真剣に討議された。

21世紀まであと14年

二十一世紀を間近に控え、東北の未来を考える本学が、一丸となって取り組んだ「東北21世紀フォーラム」。統一テーマは「新たなトータル・ポリシーを求めて」、当時の学長補佐・萩野浩基現学長が語った「大学が社会に対して果たすべき責任とその使命は何か」を問うにふさわしい濃い内容のフォーラムであった。

記念講演「二十一世紀の東北を語る」では東北の地域振興に尽力する東北経済連合会副会長で、地域開発推進協力本部長の黒田四郎氏と、未来の東北博覧会総合監修者の泉真也氏が持論を展開し、社会は産業界と学術界の神谷克己教授が務めた。



記念講演をする小松氏

「交通・運輸」、「地域スポーツ」の分科会には「福祉」、「産業・開発」、「地域の活性化を求めて」と題して基調講演。今や中央から命令されて地方が存続する時代ではなく「自立の大切さを強調した。」

四つに分かれ、東北の未来像を含め、活発な議論が交わされた。さて、フォーラム以外では三月に第二校地の整備が完了。同時に全天候型体育館(トレーニングセンター)が完成したこと、長い間の懸案だった雨や雪、とりわけ冬期間、積雪に阻まれていた体育の授業や課外活動への悩みが一掃された。

体育会各部の成績

- 陸上競技部: 東北学生対校選手権(5月16~18日、宮城スタジアム)
男子二百斤 渡辺 和也 22秒02 優勝
同五百斤 松本 圭太 15分4秒70 優勝
同千五百斤 石山 英明 4分0秒62 優勝
同一万円 森 克紀 31分39秒49 優勝
女子走り幅跳び 斎藤かおり 5尺78

Table with admission information for 2019 (Heisei 21). It includes sections for '特別選抜' (Special Selection), '一般選抜' (General Selection), '推薦A方式' (Recommended A), and '推薦B方式' (Recommended B). Each section contains detailed tables for departments, subjects, and exam dates.

平成21年度 入試情報

東北福祉大学ホームページ http://www.tfu.ac.jp

問い合わせ 入試センター TEL 022-717-3312 FAX 022-717-3332

同窓会便り ①

旭川地区同窓会

道内四つ目として誕生 設立に沸く同窓生

道内四つ目の同窓会が旭川地区に誕生した。同地区では釧路地区同窓会のアドバイスを元に、平成十八年十一月、設立準備会を発足。以来、準備を進め、設立総会にこぎつけた。

総会は三月七日午後七時から旭川市の「ロワジールホテル旭川」で開催。三十一人が出席した。

来賓には学長代理として、教部学生課の菅本昭夫次長が出席。「野球部のゆかりの地であり、親近感を感じる。この地に同窓会が誕生したことは大変にうれしい。今後の発展に期待したい」とあいさつした。

山形県同窓会

今年度の総会を十月十二日(土)に開催する予定で準備を進めている。詳細は役員会で検討するが、例年通り、学校説明会、公開講座・総会と交流懇親会の三部構成が考えられている。会場は山形国際ホテルで、奮っての参加を呼びかけていく。

連絡先 山形市小白川町 山形県老人クラブ連合会内
高橋 潔さんまで
☎023(622)5601

富山県同窓会

総会は十一月八日(土)、富山市で開催。会場は未定。

今年はバスツアーを計画。母校訪問を行うため記念講演は行わない。会員同士の情報交換と親

えと協力を仰いで、会長職を全うしたい」と設立の喜びと抱負を述べた。乾杯の音頭は林拓さん(昭44社福卒)が取った。



設立の喜びで沸く同窓生

勇気づけよう夕張を 公開講座を計画

北海道空知地区同窓会

今年の総会は夕張市で開催される。空知地区の夕張市はかつて我が国産業復興の原動力として一翼を担った産炭地区「そらち」のシンボリック存在だった。しかし、平成十九年に総務省から財政再建団体の指定を受け、市民をはじめ地域に多大な試練を残した。

そこで、昨年の総会で、夕張市民や在住同窓生に元氣と勇気を与えようと「夕張応援記念 東北福祉大学公開講座・北海道空知地区同窓会総会」の名称の下、開催することになった。

睦を深めることが主目的となる。連絡先 魚津市釈迦堂 魚津市水道局内 羽田 哲朗さんまで
☎0765(23)1013

北海道札幌地区同窓会

設立二年目の総会を開催するため具体的な準備に入った。総会は十月二十五日の土曜日、札幌市内

秋の褒章に輝く 渡邊憲介さん

昨年十月に設立した札幌地区同窓会の初代会長・渡邊憲介さん(昭47社福卒)が昨年十一月、秋の褒章で瑞宝単光章を受章した。同七日、皇居・豊明殿で行われた授章式には夫人同伴で、天皇陛下に拝謁の榮譽に浴した。

現在、北海道北広島市にある社会福祉法人、北光社「ふくじゅ園」

頑張る後輩に マイクロバス贈る

ゴルフ部OB有志

東北福祉大学OBのプロゴルファーら三十九人が母校にマイクロバスを寄付した。トヨタ・コースターの二十九人乗り「マイクロバス」で、真新しいシルバーの車体が六月三日、仙台市の国見キャンパスに到着した。

星野英正(平11卒)、谷原秀人(平12卒)、谷口拓也(平13卒)、岩田寛



頑張る後輩に贈られたマイクロバス



受章に喜ぶ渡邊憲介さんご夫妻

る業務に三十六年にわたり、携わってきた。その功績が評価されて晴れの榮譽に輝いた。

さらに「受章におこることなく、児童福祉にかかわる業務に専念していきなさい」と抱負を述べた。

懇親会では年度ごとに近況報告が行われ、同窓会伝統の踊り「ギツチョンチョン」や「ギンギラギラ」などが披露された。

今年十一月二十二日から二泊二日の予定で、仙台の奥座敷作並温泉「岩松旅館」での開催が決定。再会を約して散会した。

皆が乗れ、移動に欠かせないマイクロバス。OBの熱い支援を得た後輩たちは、六月二十日、全日本大学対抗戦(北海道オークウッドGC)で男子が二年ぶり九度目の優勝に結びつけた。

同窓会を合併 児童福祉部

年度ごとに分かれていた児童福祉部の同窓会組織が一本化され、新たな同窓会組織として誕生した。

昭和四十二年度から五十年年度までの年度ごとの組織が合併し、新たに「東北福祉大学児童福祉部同窓会(世話人代表 沢沢英隆さん、昭42社福卒)として、初の会合を昨年十一月二十四日、宮城県岩沼市の「グリーンピア岩沼モンタナ・リゾート」で開催した。参加者は総勢五十人を超えた。

北は釧路や旭川、西は岡山から駆けつけた卒業生は、再会の喜びに沸きかえった。卒業生の年度別

多彩なメニューを用意

新年度を迎えると芹沢銈介美術工芸館では、また新たな催しが始まる。毎年の光景だが、今年は何が打ち出されるか、ファンならずとも気になるところだ。4月21日から7月21日までは、特別展「染色家 芹沢銈介と考古学者 芹沢長介」が開かれている。

芹沢銈介は染色工芸家として人間国宝に認定されている。氏は自身の鋭い感性で選り抜いた古今東西の民芸品を蒐集し、作品創造のエネルギーにしていた。また、長介は考古学者らしく、蒐集したものを徹底的に調べ抜いた。特に、今回の展覧会は長介の3回忌にあたり、その生前を振り返るにふさわしい内容になっている。



クラシックギター部が演奏

は生誕祭が開かれ、正午から吹奏楽部、クラシックギター部の学生によるミニコンサートが5階ロビーで行われた。演奏を披露する機会が多くなるクラシックギター部にとっては、練習の成果を披露するまたとない機会であり、部員は出番を楽しみにしていた。

同10日には公演会「アイヌ古式舞踊とムックリ演奏体験」で、北海道白老町アイヌ民族博物館からアイヌ古式舞踊の伝承者を招いて、舞踊とムックリ演奏が披露された。

期間中の毎週火曜、土曜、日曜日はワークショップ「折り紙で作るオリジナル着物」を開催。5階ラウンジ「可否館」では、特別展にちなんだ限定メニューのコーヒート「石器サブレ」が290円で提供されている。ぜひ、この機会に会場を願っている。

東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館 展示予定

年	2008年		2009年	
月	4/21(月)~7/21(月・祝)	8月5日(火)~9月15日(月・祝)	10月1日(水)~12月17日(水)	1月20日(火)~3月20日(金・祝)
展示内容	特別展「染色家 芹沢銈介と考古学者 芹沢長介」 —ふたりの仕事と選びぬく眼—	企画展「芹沢銈介のはがき絵」	特別展「芹沢銈介の生活デザイン」	企画展「芹沢銈介のデッサン」

開館時間 10:00~16:30 (入館は16:00まで)
休館日 展示替え期間、入試期間
入館料 一般300円、学生200円 (高校生以下、本学学生・教職員は無料)

〒981-8522 仙台市青葉区国見1丁目8番1号
東北福祉大学2号館内 TEL 022-717-3318
FAX 022-717-3324

同窓会便り ②

各県総会報告

群馬県同窓会

総会は六月二十一日午後二時から高崎メトロポリタンホテルで開催された。出席会員は二十六人。高崎市での開催は平成十五年以来五年ぶり三度目。

菅原優会長(昭55社福卒)が「群馬県同窓会旗の下、会員各位と母校を語りながら交流ができ、本当にうれしい」と開会のあいさつを述べた。

協議に入り、事務局から提案された事項が承認され平成二十年度がスタート。特筆される点は在学生への就職サポート。昨年、菅原会長と前原幹事長が本学で、就職部長と江尻行男部長と「同県出身学生を対象に就職ガイダンスを同窓会として実施し、学生の就職活動が有利になるようアドバイスする機会を設けたい」との話し合いが行われた。今年度はその実現に向け、

来る!!

新潟県同窓会の恒例事業「母校訪問」が六月七日(土)午後五時に実施され、十人が参加した。日帰りであつて寸暇を惜しんでのキャンパス見学になった。



母校訪問

オープンしたばかりの病院を訪ねて

参加者の一人、前会長の 大橋誠一さん(昭41社福卒)は「毎年、母校訪問に参加しているが、来るたびに変化が見られる。その姿に卒業生として誇りを感じる」と感慨深げ。

夕方には仙台の町に出牛タンに舌鼓を打ち、余韻

懇親会では、杯を重ねることに和やかさが増し、先輩後輩の垣根もなく、終始笑いに包まれていた。

青森県同窓会

第九回総会のテーマは「青春を呼び起こし、これからの母校を応援する夕べ」で、六月二十八日午後三時からホテル青森で開催された。会員四十人が出席。青森市での開催は平成十五年以来五年ぶり。

始めに出席者全員で校歌斉唱。現在の校歌「?」を知らない同窓生は、この日に備え練習を積み重ねたという。校歌斉唱で始まる総会とは他県では見られない。



1年ぶりの再会を喜ぶ同窓生

取り組み方針が打ち出されている。

記念講演は、本学入試センターの千葉幸喜次長(昭54社福卒)が「大学の今昔」と題し、ユーモアたっぷりに話した。出席者は身近に経験した時代を懐かしく思い出していた。

芹沢銚介美術工芸館で公開中の特別展「染色家芹沢銚介と考古学者芹沢長介ふたりの仕事と遊びぬく眼」を駆け足で回り、開院間もない「せんだんホスピタル」に移動。志田職員の内務で院内を視察し、大きな特微として、児童思春期専門病床を有するという説明を受け、同窓生は感心していた。

決まる!!

富山県同窓会ではかねてから希望のあった在住同窓生による母校訪問バスツアーの実施が決まった。同窓生のほとんどが卒業後、母校を訪れる機会がなく、昨年の総会で同窓会の事業として、母校訪問の実施を計画。晴れて実現の運びになった。

訪問は七月十二日に富山市を出発。県内数カ所を回って、同窓生を乗せ、北陸・磐城・東北道を経て母校に向かう予定だ。到着は午後三時ごろ。母校では同県同窓会顧問に就任している小松洋吉教授のあ



校歌斉唱で始まる総会

や特別老人ホームで培われた豊富な経験に基づき、老人福祉についての持論を展開、出席者に感銘を与えた。

懇親会はテーマにふさわしく、学生時代にタイムスリップしたかのように青春を謳歌した。

「?」現在の校歌 昭和三十二年短大設置祝賀会で初披露された旧校歌に代わって、制定。作詞・扇畑忠雄、作曲・古賀政男で、今日、入学式、卒業式などで広く歌われている。

いさつを受け、懐かしい国見キャンパスや、発展著しい母校の現状を見学することになる。

福地先生を囲む集い

教子有志開く

沖縄県在住の教子有志が宜野湾市を訪れた恩師・福地一雄教授を歓迎するため囲む集いを催した。集いは保良昌徳さん(昭62大学院卒、沖縄国際大学と高石豪さん(平16大学院卒、NPO法人萌友)ら呼びかけ人になり、二月十一日(建国記念日)、宜野湾市の居酒屋「たいかじ」で開かれた。九人が出席。

歓迎ムードが漂う中、恩師とヒザを交え、おいしい料理と特産の泡盛で、大いに盛り上がった。

り上がる趣向だ。翌日は思い思いの場所を自由に訪れ、午後帰路に就く。現在のところ、参加人数は六名。

仙台元気塾 同窓生の「元気」を応援します 入会してみませんか

本学の予防福祉健康増進センターが運営する「仙台元気塾」では、各世代に沿った「元気づくり」のお手伝いと同塾への入会を勧めている。

同塾は経済産業省の事業支援を受け、平成十六年十月二日に設立。「自分に合った健康をデザインする」をコンセプトに、メディカルフィットネス、クリニカルアート(臨床美術)などを生かし、塾生の元気づくりをサポートする。

研修プログラムは本学が長年にわたって培ってきた研究成果と塾の運営経験を基に企画・開発され、入会後にはさまざまな健康増進サービスが用意されている。

場所はJR仙山線「東北福祉大前」駅下車、正面ビル。

問い合わせは東北福祉大学予防福祉健康増進センター
022(727)2280
<http://www.tfu-ac.net/ytkc/>

なお、沖縄県同窓会の顧問でもある福地教授は昭和六十三年に開かれた同県同窓会総会で「職場環境と福祉の関係」をテーマに、記念講演を行っている。



先生を歓迎する集い

人物登場

NPO法人「オーク」を運営 榎本歌代子さん

NPO法人の共同作業場「オーク」を東京・西池袋で運営している榎本歌代子さん(旧姓・鳥嶋、昭45社福卒)は秋田県大館市の出身。「オーク」はアルコール依存症や薬物依存症、その他の精神障害から回復した人たちの作業場として、利用者の手による自主製品や木工、竹細工、革工芸品などを都内の店舗やイベント会場で販売している。



こんな木工製品も作ります

「オーク」という名称は、ウイスキーを熟成させる水樽の木から取った。ウイスキーが樽の中で熟成され、生まれるように「オーク」という新しい場所を自分を取り戻し、新たな人生をつくり上げてほた描き方が特徴だ。

来年三月にはアートの殿堂 ニューヨークのチェルシーでも個展を開くことが決定し、注目される。

佐藤さんは、画家のほか若手社会人向けの営業ロール・プレイングをはじめ、セミナー講師としても活躍。企業の社長に向けたコラムなども執筆している。

主な著書には「フシギの部屋から」(新風社)、「伝説の就活赤120%内定獲得マニュアル」(ゴマブックス)などがある。



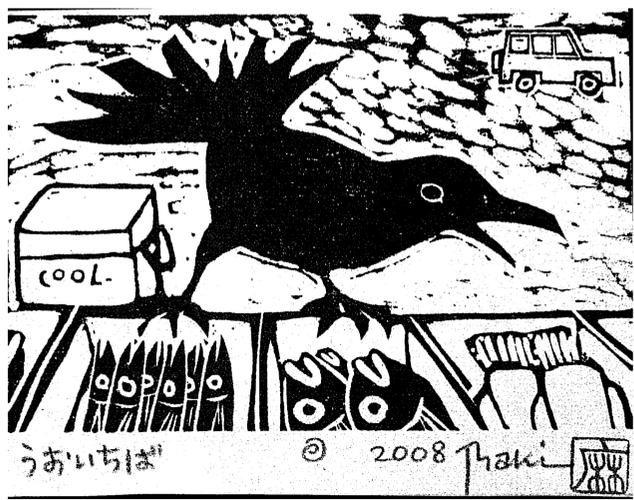
スピリチュアル・アーティスト 佐藤嵩記さんが画いた絵

創作活動続ける版画家 岡田麻希さん

「カラスに魅力を感じて」創作活動を続けている版画家・岡田麻希さん(昭59社福卒)は、平成十二年以降、仙台市内で個展を三回開催している。その創作活動は三月四日付の河北新報夕刊4面「カルチャー」欄で紹介された。

本学を卒業後、会社勤めをしたがやがて版画家に転身。以来、カラスの躍動感に魅了され、創作に取り組んできた。しかし、カラスは人間から縁起が悪いと嫌われており、描くにも遠慮があった。気持ちの吹っ切れたのは熊野三山での旅だった。

八咫鳥(やたがらす)の里として知られるだけに、カラスをデザインした土産品が多く飾られている。



岡田さんの「うおいちば」 3月4日付河北新報・夕刊で紹介されたもの

に残るアイヌ文化を版画に生かし、オリジナルなものを生み出したい」と、岡田さんは羽ばたく日々を楽しみにしている。